

広島県内陸部振興対策協議会  
設立 50 周年記念誌

# The 50th

*Memorial magazine*



平成29年6月



## 設立 50 周年を迎えて

広島県内陸部振興対策協議会

会長 小林 秀 矩

広島県内陸部振興対策協議会は、昭和 42 年 6 月 14 日の発足以来、50 周年の記念すべき節目の年を迎えました。

我々、4 市 4 町が結集する本協議会は、設立以来、当該地域の繁栄と発展を促進するため、調査・研究・提案など、積極的な活動を展開し、徐々にではありますが着実な成果を挙げてきたところです。

本協議会が半世紀もの長きにわたり、内陸部の振興に資することができたのは、ひとえに国、広島県をはじめとする関係機関、関係団体の皆様方並びに会員各位の温かいご支援とご指導の賜と、心より厚く御礼申し上げる次第であります。

今日の本協議会地域をとりまく環境は、人口の減少に起因した地域産業の衰退、医療・介護分野の人材不足、また、都市部との生活基盤整備の格差など、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、広島県におかれましては、「広島県中山間地域振興条例」を制定され、将来に明るい希望を持ち、その豊かさを実感できる中山間地域づくりに積極的に取り組んでおられることに感謝申し上げますとともに、大きな期待と関心を寄せているところであります。

本協議会といたしましても「さとやま」の資源と特色を生かし、未来につながる提案を行うことにより、各市町の将来像の実現に向け、全力を挙げて支援に取り組む所存であります。

会員各位はもとより、関係各位の一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

平成 29 年 6 月 12 日



## 活力ある地域づくりに向けて

広島県知事 湯崎 英彦

広島県内陸部振興対策協議会が設立 50 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和 42 年 6 月の設立以来 50 年の長きにわたり、本県内陸部の県会議員の皆様をはじめ、市町村長、市町村議会議長の方々が一体となられ、活力ある地域社会創造のための基盤整備や機能強化に成果を挙げられ、今日の発展を築いてこられました。

こうした皆様のため御尽力に対しまして、地域づくりに携わる一人として深く敬意を表する次第でございます。

さて、急速に進む人口減少や東京一極集中の加速化などの社会情勢の変化に的確に対応するためには、それぞれの地域の産業や独自の歴史・文化などの地域資源を活かして、他にはない「魅力」をつくり出すことによって、個性豊かで潤いのある生活を実現できる地域社会を形成することが重要であり、地方で仕事をもち、安心して暮らせる社会基盤を構築することは、日本全体の人口減少に歯止めをかけることにもつながってまいります。

本県としましても、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、県民一人ひとりが、仕事と暮らしのどちらもあきらめずに追求することのできる「欲張りなライフスタイル」の実現に向け、充実した都市機能と山間部の豊かな自然を両方楽しめる、広島ならではの「都市と自然の近接ライフ」が多くの方々に実感・共感していただけるよう、山間部への定住促進や都市部と山間部の交流人口の拡大などの各種施策に、積極的に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも本県内陸部の発展をリードしていただき、それぞれの特徴を活かした活力ある地域づくりに御尽力いただきますとともに、本県施策の推進に対し、より一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたびの 50 周年をさらなる飛躍の契機とし、貴協議会が一層発展されますことを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

平成 29 年 6 月 12 日



## 祝 辞

広島県議会議長 宇田 伸

広島県内陸部振興対策協議会が設立50周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和42年の発足以来、内陸部における地域振興の推進母体として、地域の発展に多大なる御尽力をいただいております、深く敬意と感謝の意を表します。

本県の中山間地域は、安全・安心な農産物の恵みをもたらすとともに、県土の保全や水源の涵養、良好な自然や景観の保全、さらには伝統芸能の継承など、様々な公益的かつ多面的な機能を有する、県民の豊かで安心な暮らしを支える源であります。

一方で、若年層の流出を背景として人口減少と高齢化が大きく進み、基幹産業である農林業の衰退や地域の担い手の不足、空き家や耕作放棄地の増加など、地域コミュニティを維持していく上で深刻かつ厳しい状況に直面しています。

このため県では、将来に希望を持ち、安心して心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域をめざして、「ひろしま さとやま未来博2017」の開催など、中山間地域の振興に向けた各種施策を展開しているところであります。

私ども県議会といたしましても、豊かで将来に向けて持続可能な中山間地域の実現に向けて全力で取り組む所存でありますので、皆様方におかれましても、設立50周年を契機として、なお一層の御尽力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、広島県内陸部振興対策協議会の今後ますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成29年6月12日

## 歴代会長

	初代会長（第47・48代広島県議会議長、第52代広島県議会副議長） 広島県議会議員 西田 修一 昭和42（1967）年6月14日～昭和53（1978）年12月19日
	第2代会長（第54代広島県議会議長） 広島県議会議員 木山 徳郎 昭和54（1979）年6月11日～昭和62（1987）年4月29日
	第3代会長（第72代広島県議会副議長） 広島県議会議員 木山 千之 昭和62（1987）年6月11日～平成9（1997）年6月9日
	第4代会長（第87代広島県議会副議長） 広島県議会議員 滝口 次郎 平成9（1997）年6月9日～平成11（1999）年6月7日
	第5代会長（第92代広島県議会副議長） 広島県議会議員 小島 敏文 平成11（1999）年6月7日～平成19（2007）年6月8日
	第6代会長 広島県議会議員 児玉 浩 平成19（2007）年6月8日～平成27（2015）年6月5日
	第7代会長 広島県議会議員 小林 秀矩 平成27（2015）年6月5日～現 在



理事 徳光義昭 世羅町議会議長  
 理事 富永豊 安芸太田町議会議長  
 理事 堀井秀昭 庄原市議会議長  
 理事 丸山茂美 府中市議会議長  
 監事 奥田正和 世羅町長  
 理事 小坂眞治 安芸太田町長  
 理事 入江嘉則 神石高原町長  
 理事 亀井源吉 三次市議会議長  
 理事 先川和幸 安芸高田市議会議長  
 理事 伊藤久幸 北広島町議会議長  
 理事 松本彰夫 神石高原町議会議長  
 事務局長 高野美則



監事 増田和俊 三次市長  
 理事 上田泰弘 広島県議会議員  
 理事 岡崎哲夫 広島県議会議員  
 幹事長 下森宏昭 広島県議会議員  
 副会長 木山耕三 庄原市長  
 顧問 平田修己 広島県議会議員  
 会長 小林秀矩 広島県議会議員  
 顧問 児玉浩 広島県議会議員  
 副会長 箕野博司 北広島町長  
 副幹事長 宮本新八 広島県議会議員  
 理事 桑木良典 広島県議会議員  
 理事 戸成義則 府中市長  
 理事 浜田一義 安芸高田市長

## ■広島県内陸部振興対策協議会の歴史

昭和42（1967）年6月13日 庄原市において最終準備委員会開催  
 昭和42（1967）年6月14日 庄原市の同栄社農協ビルにおいて設立総会開催  
 広島県議会議員 西田修一氏 初代会長に就任

設立時加入市町村 2市39町村

三次市、庄原市、山県郡加計町、筒賀村、戸河内町、芸北町、大朝町、千代田町、豊平町、高田郡吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町、白木町、世羅郡甲山町、世羅町、世羅西町、神石郡油木町、神石町、豊松村、三和町、甲奴郡上下町、総領町、甲奴町、双三郡君田村、布野村、作木村、吉舎町、三良坂町、三和町、比婆郡西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、賀茂郡福富町、豊栄町、大和町、河内町

昭和43（1968）年2月9日 広島県議会第1会議室において第1回総会開催

昭和45（1970）年6月17日 高田郡向原町 脱会 2市38町村

昭和46（1971）年6月16日 高田郡白木町 脱会 2市37町村

昭和54（1979）年6月11日 第13回総会において、広島県議会議員 木山徳郎氏 第2代会長就任

昭和57（1982）年5月21日 高田郡向原町 加入 2市38町村

昭和60（1985）年1月1日 御調郡久井町 加入 2市39町村

昭和62（1987）年6月11日 第21回総会において、広島県議会議員 木山千之氏 第3代会長就任

賀茂郡福富町、豊栄町、大和町、河内町 脱会 2市35町村

11月17日 本協議会創立20周年記念大会開催及び20年のあゆみ発刊

平成9（1997）年6月9日 第31回総会において、広島県議会議員 滝口次郎氏 第4代会長就任

平成11（1999）年6月7日 第33回総会において、広島県議会議員 小島敏文氏 第5代会長就任

平成16（2004）年3月1日 高田郡吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町合併により安芸高田市加入  
3市29町村

4月1日 府中市に甲奴郡上下町が合併 甲奴郡上下町 脱会 3市28町村

同日 三次市、双三郡君田村、布野村、作木村、吉舎町、三良坂町、三和町、甲奴郡甲奴町合併により三次市 加入 3市21町村

10月1日 山県郡加計町、筒賀村、戸河内町合併により山県郡安芸太田町 加入 3市19町村

同日 世羅郡甲山町、世羅町、世羅西町合併により世羅郡世羅町 加入 3市17町村

11月5日 神石郡油木町、神石町、豊松村、三和町合併により神石郡神石高原町 加入 3市14町

平成17（2005）年2月1日 山県郡芸北町、大朝町、千代田町、豊平町合併により山県郡北広島町 加入 3市11町

3月22日 三原市に御調郡久井町が合併 三原市 加入 4市10町村

3月31日 庄原市、比婆郡西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、甲奴郡総領町合併により庄原市 加入 4市4町

平成19（2007）年6月8日 第41回総会において、広島県議会議員 児玉浩氏 第6代会長就任

平成22（2010）年3月31日 三原市 脱会 3市4町

平成27（2015）年6月5日 第49回総会において、広島県議会議員 小林秀矩氏 第7代会長就任

平成28（2016）年4月1日 府中市 加入 4市4町

平成29（2017）年6月12日 広島市文化交流会館において設立50周年記念式典及び記念誌発刊

平成29年6月12日時点 加入市町 4市4町

府中市、三次市、庄原市、安芸高田市、山県郡安芸太田町、北広島町、世羅郡世羅町、神石郡神石高原町

## ■広島県の歴史

昭和43（1968）年　　：広島カーブが東洋工業（現マツダ）の支援を受け、広島東洋カーブに改称

昭和50（1975）年3月10日：山陽新幹線岡山 - 博多間が開業

昭和53（1978）年10月28日：中国縦貫自動車道　北房IC-三次ICが開通

昭和54（1979）年10月18日：中国縦貫自動車道　三次IC-千代田ICが開通

昭和55（1980）年4月1日：広島市が政令指定都市に移行

昭和58（1983）年3月24日：中国縦貫自動車道　千代田IC-鹿野ICが開通し全線開通

平成3（1991）年12月7日：中国横断自動車道　広島浜田線　千代田JCT-旭IC開通により全線開通

平成4（1992）年4月24日：Jリーグ発足に伴い、サンフレッチェ広島結成

平成5（1993）年10月29日：新「広島空港」開港

平成6（1994）年　　：広島アジア大会開催

平成8（1996）年　　：ひろしま国体開催。厳島神社と原爆ドームが世界遺産に登録

平成11（1999）年5月1日：多々羅大橋完成（瀬戸内しまなみ海道が全通）

平成13（2001）年3月24日：芸予地震発生

平成16（2004）年11月25日：旧緑資源幹線林道事業（通称:大規模林道）粟倉・木屋原線完成

平成18（2006）年3月1日：県内での平成の合併終了。従前の86の市町村から23市町に再編された。

平成22（2010）年11月27日：中国横断自動車道　尾道松江線　尾道JCT - 世羅IC間開通

平成25（2013）年3月30日：中国横断自動車道　尾道松江線　三次東IC/JCT-吉田掛合IC間開通

平成26（2014）年3月30日：中国横断自動車道　尾道松江線　吉舎IC - 三次東JCT/IC間開通

平成27（2015）年3月22日：中国横断自動車道　尾道松江線　世羅IC - 吉舎IC間開通により、全線開通

平成28（2016）年5月27日：オバマ米大統領が平和記念公園訪問

## ■府中市の歴史

昭和50（1975）年2月1日：府中市に芦品郡協和村を編入

昭和56（1981）年2月　　：国蝶オオムラサキの保護活動を僧殿町で開始

平成5（1993）年4月1日：県道福山上下線および府中御調線が国道486号に昇格

平成16（2004）年4月1日：府中市に甲奴郡上下町を編入

平成20（2008）年4月1日：市内全小・中学校で小中一貫教育を本格実施

平成26（2014）年3月22日：2014関西・中国・四国B-1グランプリ in 府中開催

平成28（2016）年10月3日：備後国府跡が国の史跡に指定される

平成28（2016）年10月22日：道の駅びんご府中がオープン

## ■三次市の歴史

昭和47（1972）年7月9日：昭和47年7月豪雨災害発生

平成6（1994）年7月21日：広島三次ワイナリー操業開始

平成6（1994）年9月19日：公立三次中央病院開院

平成16（2004）年4月1日：三次市制施行（三次市、双三郡君田村、布野村、作木村、吉舎町、三良坂町、三和町、甲奴郡甲奴町）

平成20（2008）年4月1日：三次ケーブルテレビ、市内全域で放送開始

平成26（2014）年11月23日：三次市民ホール「きりり」落成

平成27（2015）年4月27日：三次の鵜飼が広島県無形民俗文化財に指定

平成27（2015）年10月4日：J R三次駅周辺整備事業竣工記念式典

## ■庄原市の歴史

昭和45（1970）年7月20日：未確認類人猿「ヒバゴン」を西城町油木地区で目撃

昭和50（1975）年10月9日：吾妻・帝釈国民休暇村帝釈地区宿舍（現 休暇村 帝釈峡）開設

平成元（1989）年4月17日：広島県立大学（現 県立広島大学庄原キャンパス）開学

平成2（1990）年3月3日：上野公園が「さくら名所100選」に選定

平成5（1993）年11月24日：県内初の道の駅として道の駅リストアステーション（庄原市総領交流拠点施設）が登録・開業

平成7（1995）年4月14日：中国地方唯一の国営公園「国営備北丘陵公園」開園

平成17（2005）年3月31日：庄原市制施行（庄原市、比婆郡西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、甲奴郡総領町）

平成28（2016）年8月12日：リオデジャネイロ五輪競泳女子200m平泳ぎで金藤理絵選手が金メダルを獲得

## ■安芸高田市の歴史

平成16（2004）年3月1日：安芸高田市制施行（高田郡吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町）

平成18（2006）年4月6日：郡山城が日本百名城に選定

平成19（2007）年11月3日：市役所新庁舎完成竣工記念式典

平成22（2010）年10月1日：「お太助バス」「お太助ワゴン」「市町村運営有償運送」の3つの乗り物を組み合わせた安芸高田市新公共交通システムを運行開始

平成25（2013）年4月1日：安芸高田市葬斎場「あじさい聖苑」供用開始

平成25（2013）年11月27日：安芸高田市民憲章制定

平成26（2014）年4月1日：安芸高田市内全域に光ネットワークを整備し、サービスを開始

平成28（2016）年3月1日：甲立古墳が国史跡に決定

## これまでの重点要望事項（10年ごとのあゆみを掲載）

### ○昭和42年度主要施策に関する重点要望事項

1. 地域開発に取り組む内陸部市町村の財政負担を軽減し、各種事業に対する県費助成率の引き上げと事業量の拡大を早急に実現せられたい。
2. 内陸部開発の地区別及び総合の企画を具体化する機関を早急に整え、且つ市町村振興資金の増額と貸付限度額の引き上げを要望する。
3. 交通網の整備を一段と強化し、併せて市町村道改修財源につき、格別の配慮を煩わしたい。
4. 畜産並びに林業の振興施策を一層拡大して農林業の近代化と資源開発を期せられたい。
5. 縦貫道の早期完成と国道の整備拡充を期すること。
6. 交付税並びに助成率等の傾斜配分方式を確立すること。
7. 農民年金制度の確立と、国民健康保険制度の抜本改正。
8. 地域開発調査指導機関を速やかに発足せしめ、後継者養成の教育制度の充実をはかること。
9. 内陸部住民に就業の場をあたえる工業誘致にそなえ、県営工場団地造成を進めていただきたい。

### ○昭和52年度主要施策に関する重点要望事項

1. 備北新都市圏整備計画について、引き続き県における強力な推進を講じて頂きたい。
2. 備北地域は、高等教育機関に恵まれていないので、地域的特色を生かした高等教育機関（女子教育部門を含む）を早期に設置して頂きたい。
3. 過疎地域における僻地医療の充実を図るため、医師確保等抜本的な対策を講じて頂きたい。
4. 農業生産基盤整備事業の積極的な推進を図るための措置を講じて頂きたい。
5. 大規模林道整備事業を積極的に促進して頂きたい。
6. 道路交通網の整備を積極的に促進して頂きたい。
7. 中国縦貫自動車道安佐IC と広島市中心部を直結する横断高速自動車道を早期に建設して頂きたい。
8. 国道昇格要望路線について、早期に国道昇格のための措置を講じて頂きたい。
9. ダム周辺環境整備を積極的に促進して頂きたい。

### ○昭和62年度主要施策に関する重点要望事項

1. J R 地方交通線の存続と J R 芸備線の複線電化及び可部線、福塩線のスピード化の早期実現、並びに J R 広島支社の県内管轄一本化の実現。
2. 企業立地の促進。
3. ほ場整備予算の確保、現行補助率の維持及び新規採択地区数の確保。
4. 国土開発幹線自動車道の建設促進。
5. 一般国道、主要地方道、一般県道の整備促進及び新広島空港アクセス道路網の整備。
6. 内陸地域の振興対策の促進と過疎地域市町村財源対策。
7. 西中国山地国定公園、比婆道後帝釈国定公園及び国営備北丘陵公園を結ぶ広域観光開発の促進。
8. 松喰虫の徹底的防除対策の確立。
9. 大規模林道整備事業の促進。
10. 中小河川改修の促進及び予算確保。
11. ダム水没地域住民の生活再建及びダム周辺整備対策の確立。
12. アジア競技大会、国民体育大会の各種競技の内陸適地での開催。

### ■安芸太田町の歴史

昭和44（1969）年1月10日：三段峡を含む中国山地西部が西中国山地国定公園に指定

昭和63（1988）年7月21日：集中豪雨による土石流発生等により死者14人の被害

平成11（1999）年7月26日：井仁地区「日本棚田百選」に認定（県内唯一）

平成13（2001）年10月8日：温井ダム竣工（西日本一の高さ156m。アーチ式ダムとしては全国第2位の高さ）

平成15（2003）年12月1日：J R 可部線：可部駅－三段峡駅間廃止

平成16（2004）年10月1日：山県郡安芸太田町制施行（山県郡加計町、筒賀村、戸河内町）

平成21（2009）年2月13日：安芸太田町消防団、日本消防協会特別表彰「まとい」受章

平成24（2012）年3月22日：森林セラピー基地に認定（県内初）

### ■北広島町の歴史

平成17（2005）年2月1日：山県郡北広島町制施行（山県郡芸北町、大朝町、千代田町、豊平町）

平成18（2006）年11月16日：「北広島やまなみどぶろく特区」に認定

平成21（2009）年6月1日：役場庁舎太陽光発電システム・川小田小水力発電所が経済産業省とNEDOの「新エネ百選」に認定

平成22（2010）年7月1日：きたひろネット全地域全面供用開始

平成23（2011）年11月27日：「壬生の花田植」がユネスコ無形文化遺産に登録

平成25（2013）年10月12日：道の駅舞ロード I C 千代田グランドオープン

平成26（2014）年10月13日：北広島町千代田運動公園温水プールSuiSui開園

平成26（2014）年11月22日～24日：合併10周年記念事業「神楽マラソンin北広島」開催

### ■世羅町の歴史

平成16（2004）年10月1日：世羅郡世羅町制施行（世羅郡甲山町、世羅町、世羅西町）

平成18（2006）年4月14日：せら夢公園（せら県民公園・せらワイナリー）開園

平成18（2006）年9月1日：せらまちタクシー運行開始

平成20（2008）年4月：せらケーブルねっとサービス開始

平成23（2011）年8月19日：世羅町子ども議会初開催

平成24（2012）年9月1日：せらワインが国産ワインコンクールで金賞受賞

平成27（2015）年5月23日：道の駅世羅オープン

平成27（2015）年12月20日：全国高等学校駅伝競走大会で世羅高等学校が男女同時優勝

### ■神石高原町の歴史

昭和58（1983）年8月2日：国道182号の全線開通

平成3（1991）年4月1日：油木シルトピア開業

平成6（1994）年8月14日：道の駅さんわ182ステーション開業

平成7（1995）年10月1日：神石コスモドーム開業

平成8（1996）年11月1日：豊松トマト団地完成

平成15（2003）年4月1日：とよまつ紙ヒコーキ・タワー開業

平成16（2004）年11月5日：神石郡神石高原町制施行（神石郡油木町、神石町、豊松村、三和町）

平成27（2015）年7月4日：神石高原ティアガルテン開業

## これまでの重点要望事項（10年ごとのあゆみを掲載）

### ○平成9年度主要施策に関する重点要望事項

1. 中山間地域活性化のための総合的振興施策の充実強化と財源確保。
2. 総合的な若者定住対策の推進。
3. 中国横断自動車道尾道松江線の早期整備。
4. 地域高規格道路の整備促進。
5. 過疎地域活性化計画実施のための財源確保対策の確立。
6. 内陸地域の水源確保対策の推進。
7. 過疎地域の高齢化に対応した特別養護老人ホーム等の早期整備。
8. 備北ウェルネス計画（備北ウェルネスポリス開発構想）の推進、具体化

### ○平成19年度主要施策に関する重点要望事項

1. 中山間地域活性化事業の推進及び支援策の充実強化。
2. 都市と中山間地域における情報格差の解消。
3. 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化。
4. 生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化。
5. JR芸備線の輸送改善対策の推進。
6. JR可部線廃止区間の代替バス確保と沿線地域の観光交流支援策の充実強化。
7. 県立広島大学地域連携センターの機能及び体制の充実。
8. 地域特性に立脚した環境政策・エネルギー政策の推進。
9. 中山間地域における医師確保対策をはじめとする医療体制の整備。
10. 総合的、計画的な少子化対策の推進及び支援策の充実強化。
11. 広島県新農林水産業・農山漁村活性化行動計画における県事業の推進及び支援策の充実強化。
12. 中山間地域における集落維持施策の充実強化。
13. 鳥インフルエンザ等家畜伝染病対策の充実強化。
14. 中国横断自動車道尾道松江線の早期整備。
15. 地域高規格道路の整備促進。
16. 広島・江津間広域開発道路の整備促進。
17. 中山間地域における学校教育の充実。
18. 学校統廃合後の支援策の充実。
19. 中山間地域における駐在所の整備推進。



## 平成29年度主要施策に関する重点要望事項

### I. 安心な暮らしの実現に向けて

1. 医療・介護人材確保対策及び介護保険制度の財政支援の充実等の医療・福祉体制の整備
2. 総合的、計画的な少子化対策の推進及び支援策の充実強化
3. 就学前教育を含めた教育施策の推進及び支援策の充実
4. 地域の安全・安心を支える防犯体制の充実及び交通安全施設整備の推進
5. JRを含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化
6. 土砂災害・水害等自然災害に対応した防災体制の充実強化

### II. 地域産業の振興に向けて

1. 観光振興の推進及び支援策の充実
2. 2020広島県農林水産業チャレンジプランのアクションプログラムにおける県事業の確実な推進
3. 未来・将来に向けた林業振興の推進及び支援策の充実
4. 兼業農家・小規模農家に対する支援策の充実
5. 中山間地域においても景気回復を実感できる地域経済活性化策の充実

### III. 生活基盤の充実に向けて

1. 中山間地域活性化事業・集落維持施策の推進及び支援策の充実強化
2. 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化
3. 地域高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上
4. 情報通信環境の整備及び維持に対する支援策の充実



活動写真



総会



総会



役員会



理事会



県要望会



県要望会



防衛省要望活動



農林水産省要望活動

活動写真



亀井静香衆議院議員



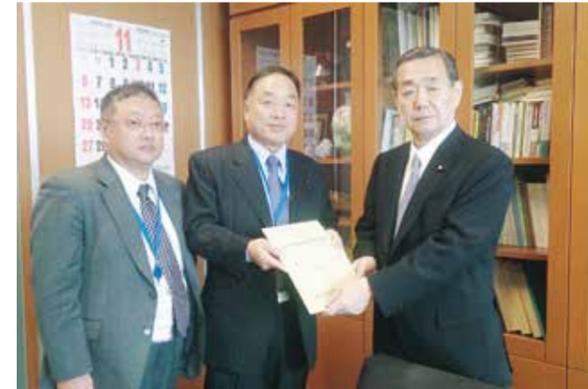
河井克行衆議院議員



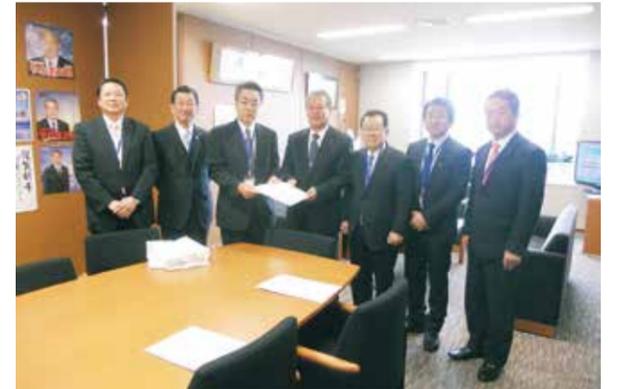
小島敏文衆議院議員



新谷正義衆議院議員



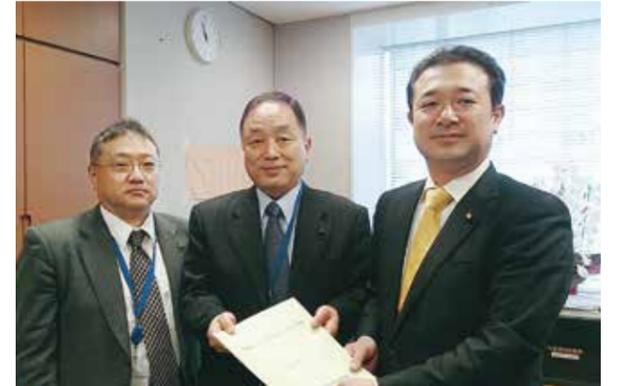
溝手顕正参議院議員



柳田稔参議院議員



宮沢洋一参議院議員



森本真治参議院議員

## 広島県議会議員会員



顧問  
県議会議員（三原市・世羅郡）  
平田修己



顧問  
県議会議員（安芸高田市）  
児玉浩



会長  
県議会議員（庄原市）  
小林秀矩



幹事長  
県議会議員（三次市）  
下森宏昭



副幹事長  
県議会議員（山県郡）  
宮本新八



理事  
県議会議員（府中市・神石郡）  
岡崎哲夫



理事  
県議会議員（三原市・世羅郡）  
桑木良典



理事  
県議会議員（三原市・世羅郡）  
上田泰弘



# 府中市



府中市長  
戸成義則



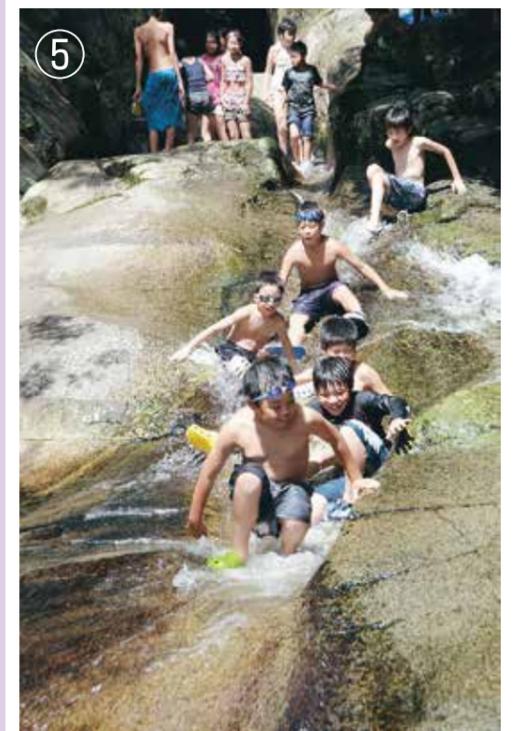
府中市議会議長  
丸山茂美

## 笑顔で豊かな暮らしができるまち

府中市は古くは備後国の国府が置かれるなど、古代から人の暮らしが絶えない地域であり、近代以降も「ものづくりのまち」として発展を遂げてきました。また、豊かな山林や美しい河川など自然環境にも恵まれ、こうした文化、産業、自然を生かして、魅力あるまちづくりを推進しています。



- ① 備後府中焼きキャラクター「ミンチュウ」
- ② 「上下白壁の町並み」
- ③ 市民のソウルフード「備後府中焼き」
- ④ 国蝶「オオムラサキ」
- ⑤ 天然のウォータースライダー「三郎の滝」



# 三次市



三次市長  
増田和俊



三次市議会議長  
亀井源吉

しあわせを実感しながら、  
住み続けたいまち  
～中山間地の未来を拓く  
拠点都市・三次～

三次市は、市内中心部で3本の川が合流し、日本海に注ぐ「江の川」となり、山陰・山陽を結ぶ交通の要衝として古くから舟運が発達してきたまちです。現在でも、2つの高速道路やJR3路線が結節するなど、中国地方のクロスポイントとして拠点性・利便性が向上しています。

また、県内でも有数の桜の名所であり、夏には400有余年の伝統を持つ「鶺鴒」や秋から早春にかけて見られる「霧の海」、日本の滝百選に選ばれた「常清滝」など、四季折々の魅力溢れる資源に恵まれています。

黒い真珠と呼ばれる最高級ぶどう「三次ピオーネ」をはじめとした特産品や、江戸時代から伝わる「三次人形」や妖怪伝説「稲生物怪録（いのもののけるく）」などの伝統・文化を活かしつつ、安心の医療・福祉体制や子育て環境、充実した文化・スポーツ施設を整備し、だれもが「誇れるまち」づくりを展開しています。



きりこちゃん  
三次観光イメージキャラクター



- ①三和町を流れる美波羅川（みはらがわ）の「千本桜」
- ②広島県無形民俗文化財第1号指定「三次の鶺鴒」
- ③雄大で幻想的な光景「霧の海」
- ④四季折々の美しい景色を楽しむことができる「常清滝」
- ⑤上品な香りととろけるような甘さが特徴の「三次ピオーネ」
- ⑥節句のお祝いには欠かせない三次を代表する伝統工芸品「三次人形」

# 庄原市



庄原市長  
木山耕三



庄原市議会議長  
堀井秀昭

美しく輝く  
里山共生都市

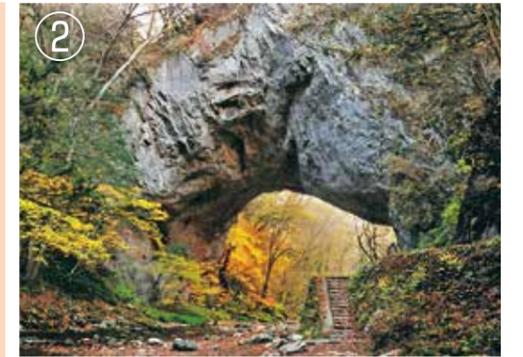
庄原市は、比婆の山々に囲まれた雄大な自然と、先人の知恵と努力によって築き上げられた歴史と文化をもつまちです。

市内には比婆道後帝釈国定公園や中国地方唯一の国営公園である国営備北丘陵公園、イザナミノミコトの陵墓とも伝えられる比婆山御陵など豊富な地域資源に恵まれています。

また、地域団体商標登録「比婆牛」、全国のコンテストで数々の賞を受賞し、県内一の米の生産量を誇るコメ処です。



- ① 庄原「いちばん」ロゴマーク
- ② 比婆道後帝釈国定公園 帝釈峽「雄橋（おんばし）」
- ③ 「比婆牛」（地域団体商標）
- ④ 雪合戦 IN 高野
- ⑤ 国営備北丘陵公園
- ⑥ イザナミノミコトを祀る比婆山連峰の主峰「御陵」



# 安芸高田市



安芸高田市長  
浜田一義



安芸高田市議会議長  
先川和幸

## 人がつながる 田園都市

安芸高田市は、中国山地の山々に囲まれ、豊かな歴史や文化、スポーツ環境を有するまちです。

とりわけ、戦国武将毛利元就の里や平成 28 年に国史跡に指定された甲立古墳などの歴史的資源、神楽ややし田等の無形民俗文化財、サンフレッチェ広島のマザータウンとしての練習拠点、さらには湧永製菓ハンドボール部の競技拠点として知られています。

観光施設は、安芸高田市歴史民俗博物館をはじめ、神楽門前湯治村、土師ダム公園、たかみや湯の森、湧永満之記念庭園、滝の観音、吉田サッカー公園などの歴史、文化、スポーツ施設を有し、年間約 160 万人が訪れています。

田園と山並みの豊かな緑、清流に囲まれた歴史と伝統ある落ち着いた暮らしを活かしながら、都市的魅力と田園の安らぎが共生した快適でおいしい生活空間や、「安心」と「ゆとり」を備えた住みやすさ、多様な働く場が確保されたまちを目指しています。



たかたん  
(安芸高田市公式マスコットキャラクター)

- 上段より
- ①サンフレッチェ広島必勝祈願祭（清神社）
  - ②西日本有数の桜の名所（土師ダム）
  - ③「ひろしま安芸高田神楽」（神楽門前湯治村）
  - ④毛利氏と郡山城跡を中心に市の歴史と文化財を紹介（歴史民俗博物館）
  - ⑤鬼より辛い「夜叉うどん」（神楽門前湯治村ほか）



安芸高田市の里山を見守る童子（鬼のこども）だよ。

⑤

# 安芸太田町



安芸太田町長  
小坂眞治



安芸太田町議会議長  
富永 豊

## 豊かさあふれ つながりひろがる 安芸太田

～ほとほと便利 とびきり幸せ  
笑顔かがやく里山のまち～

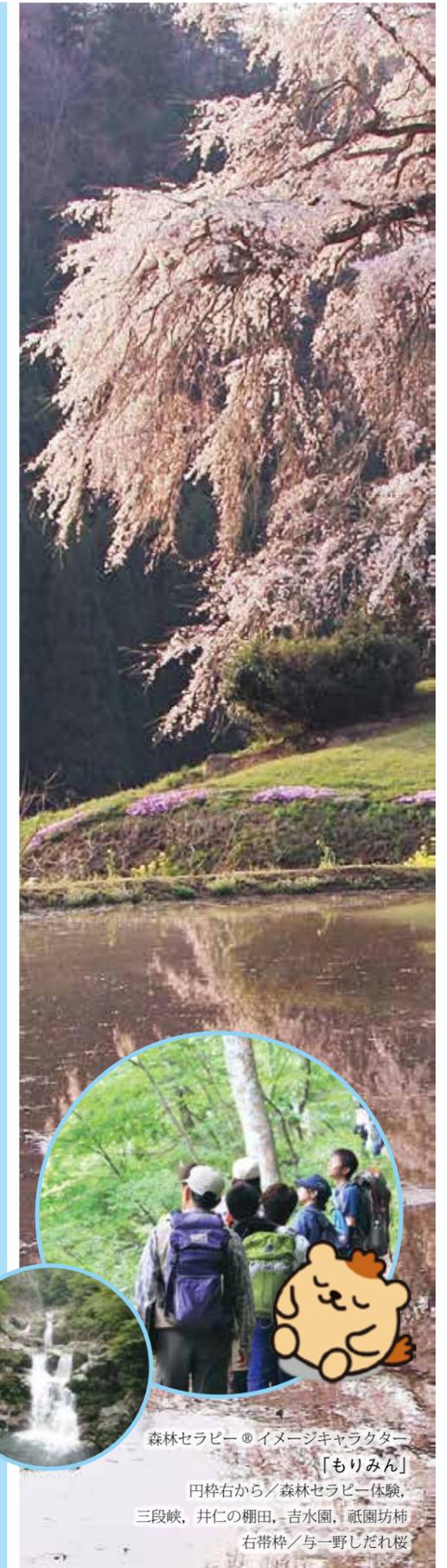
安芸太田町は、広島デルタを形成した太田川の源流域に位置し、県内最高峰の恐羅漢山をはじめとする山々に囲まれ、美しい自然環境の中で産業や暮らしを築いてきました。

また、100 万都市の広島市に隣接するため、ほどよい利便性を享受しながらも、人と人との顔が見えるつながりを大切に、人情豊かな地域コミュニティを守り育ててきました。

これからも、安芸太田町の資源である「豊かな自然」と「人情」を強みに、町内外に人と人とのつながりが広がるまちを目指していきます。



森林セラピー®イメージキャラクター  
「もりみん」  
田杵右から／森林セラピー体験、  
三段峡、井仁の棚田、吉水園、祇園坊柿  
右帯杵／与一野しだれ桜



# 北広島町

新たな感動・活力を創る 北広島  
～人のチカラがあふれるまち～



北広島町長  
箕野博司



北広島町議会議長  
伊藤久幸

北広島町は、広島県の西北部、西中国山地の標高300メートルから800メートルの盆地、高原に広がる芸北地域のほぼ中央に位置し、北は島根県と接しています。また、広島都市圏から瀬戸内海の島々の水源地域で、太田川と江の川の源流域でもあります。

春の新緑、夏の清流、秋の紅葉、冬のウィンタースポーツなど、四季折々、大勢の観光客で賑わいます。

古くから山陽と山陰を結ぶ中継地として栄え、中世には砂鉄の産地でもあり、戦国武将・毛利氏、吉川氏の遺跡群も数多く残るほか、神楽や花田植などの民俗芸能、ブナの森、湿原、動植物などの貴重で雄大な自然と田園文化が息づく町です。



北広島町イメージキャラクター  
花田舞太郎  
上段/ユネスコ無形文化遺産指定「壬生の花田植」  
下段左/日本最南端スキー場集積地  
下段中/国指定天然記念物「大朝テングシデ群落」  
下段右/豊平そば



# 世羅町



世羅町長  
奥田正和



世羅町議会議長  
徳光義昭

いつまでも住み続けたい日本一のふるさと  
～ひとと、歴史と、未来をつなぐ、せらのまちづくり～

世羅町は、豊かな自然に囲まれた標高約400mの台地で形成された高原地域です。昼夜の寒暖差が大きいため、米をはじめアスパラ、キャベツなどの野菜、梨やぶどうなどの果物が美味しく育ち、農産物の一大産地となっています。



世羅町イメージキャラクター  
せら坊

町内には、果樹観光農園や花観光農園も多く、観光のまちとしても知られるようになりました。



じんせきこうげんちょう  
**神石高原町**



神石高原町長  
**入江嘉則**



神石高原町議会議員  
**松本彰夫**

**人と自然が輝く高原のまち**

神石高原町は、中国山地標高300mから600mの山々に囲まれた自然豊かな高原の町です。古くは、中津藩の代官所があり、また井伏鱒二の「黒い雨」の舞台にもなっています。近年では、森林セラピー®基地として町内全体が認定を受けたり、紙ヒコーキを飛ばすことのできる「とよまつ紙ヒコーキ・タワー」、自然をいつくしむ体験型観光施設「神石高原ティアガルテン」、四季折々の姿をみせる神龍湖を含む国定公園帝釈峡などでカヤック体験などアクティブに自然のなかで様々な体験ができます。地域産業として農業が主力であり「赤」と「黒」のプロジェクトを推進しており、「赤」は(豊)トマトとして県内1番の産地を確立しており、「黒」としては、ピオーネ栽培、神石牛の普及、在来こんにゃくの栽培に取り組んでいます。

写真 右上から順に  
 国定公園 帝釈峡 神龍湖にてカヤック  
 神石牛  
 文学碑 黒い雨  
 神石高原ティアガルテン 真夏の雪まつり  
 上空から見たとよまつ紙ヒコーキタワー  
 紙ヒコーキを飛ばすところ  
 (豊)トマト



**広島県内陸部振興対策協議会会員名簿**

平成29年6月12日現在

県議会議員	平田 修己	県議会議員	岡崎 哲夫
県議会議員	児玉 浩	県議会議員	宮本 新八
県議会議員	小林 秀矩	県議会議員	下森 宏昭
県議会議員	桑木 良典	県議会議員	上田 泰弘
府中市長	戸成 義則	府中市議会議員	丸山 茂美
三次市長	増田 和俊	三次市議会議員	亀井 源吉
庄原市長	木山 耕三	庄原市議会議員	堀井 秀昭
安芸高田市長	浜田 一義	安芸高田市議会議員	先川 和幸
安芸太田町長	小坂 眞治	安芸太田町議会議員	富永 豊
北広島町長	箕野 博司	北広島町議会議員	伊藤 久幸
世羅町長	奥田 正和	世羅町議会議員	徳光 義昭
神石高原町長	入江 嘉則	神石高原町議会議員	松本 彰夫

